

## 福岡市「東区安全安心まちづくりイベント」交通安全を啓発

～反射材付交通安全チラシを配布し、反射材貼付を推進～

日本損害保険協会九州支部委員会（委員長：横山 和広 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 常務執行役員 九州・沖縄地域担当）では、11月23日（木・祝）に福岡市東区の商業施設で開催された、福岡県警察等が参加する「東区安全安心まちづくりイベント」で、反射材付の交通安全啓発チラシ等を配布しました。

本イベントは、実際のパトカーや白バイへの乗車体験・記念撮影のほか、消防車や水素バスなど「働く車」の展示が行われるほか、消火器使用体験や市消防音楽隊による演奏も行われ、「子どもから大人まで交通安全等について楽しみながら学べる体験型イベント」であり、当日は家族連れを中心に多くの来場がありました。

福岡県警察では、①交通死亡事故数が急激に増加し、このままの状況で推移した場合には、2年振りに死者数100人を超えること、②日暮れの早くなる時期は、薄暮から夜間帯に歩行者等の交通死亡事故が多発する傾向にあることから、「夕暮れ時と夜間の交通事故防止」・「高齢者を始めとする歩行者の交通事故防止」を重点目標とする「交通死亡事故抑止60日作戦」を11月1日から実施しています。

日本損害保険協会九州支部では、この作戦に協力し、県内の交通事故を1件でも防ぐべく、反射材付の交通事故防止警察チラシ1万枚を寄贈するとともに、「東区安全安心まちづくりイベント」に参加し、福岡県警察の警察官と一緒に、イベント来場者に反射材付交通安全チラシを手渡しし、反射材の効果の説明したうえで、カバンや靴等に反射材を貼っていただくようお願いしました。

当支部では、引き続き、県警察等と連携し、交通事故件数・死者数を減減できるよう、交通事故防止活動に取り組んでいきます。



チラシ配布の様子①



チラシ配布の様子②



当日の配布チラシ等



イベントの様子